

フクオカシネアスト 第3回 2020年度(2020.1.1.-2021.3.31)

# 2020世界映画ベスト・テン 決定!

2021.5.5

## <優秀作品賞>

- ① 『異端の鳥』(チェコ・ウクライナ・スロバキア2017~19/20) V・マルホウル監督 278P
  - ② 『マルケータ・ラザロヴァー』(旧チェコスロバキア1964~66) F・ヴラーチル監督254
  - ③ 『はちどり』(韓国2018/20) キム・ボラ監督198ポイント
  - ④ 『37セカンズ』(日本・米国2019/20) HIKARI監督 196ポイント
  - ⑤ 『パラサイト 半地下の家族』(韓国2019/20) ポン・ジュノ監督 192ポイント
  - ⑥ 『ミナリ』(米国2020/21) リー・アイザック・チョン監督 172ポイント
  - ⑦ 『1917命をかけた伝令』(英国・米国2019/20) サム・メンデス監督 168ポイント
  - ⑧ 『ノマドランド』(米国2018~20/21) クロエ・ジャオ監督 154ポイント
  - ⑨ 『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』(日本2020) 外崎春雄監督 136ポイント
  - ⑩ 『夜のダイヤモンド』(旧チェコスロバキア1964 /68) ヤン・ニエメツ監督 134ポイント
  - ⑩ 『シン・エヴァンゲリオン劇場版:Ⅱ』(日本2012~20/21) 庵野秀明総監督 134ポイント
- (次) 『アングスト/不安』(オーストリア1983/2020) ジェラルド・カーグル監督128P
- (次) 『Mank/マンク』(米国2020) デヴィッド・フィンチャー監督 128ポイント
- (次) 『火事だよ!カワイ子ちゃん』(旧チェコスロバキア・伊1967) M・フォアマン監督 128
- (次) 『つながれたヒバリ』(旧チェコスロバキア1969/90) イジー・メンツェル監督 128P

## <最優秀監督賞(同率)>

『異端の鳥』 ヴァーツラフ・マルホウル(チェコ・プラハ出身/1960.1.30-)

『はちどり』 キム・ボラ(韓国・ソウル出身/1981.11.30-)

## <最優秀主演俳優賞>

男優: 『マ・レイニーのブラックボトム』 『ザ・ファイブ・ブラッズ』

チャドウィック・ボーズマン(米国・サウスカロライナ州出身/1976.11.29-2020.8.28)

女優：『はちどり』パク・ジフ(韓国・テグ広域市出身/2003.11.7-)

<最優秀助演俳優賞>

男優：『異端の鳥』ウド・キアー(ドイツ・ケルン出身/1944.10.14-)

女優：『はちどり』キム・セビョク(韓国・釜山広域市出身/1986.10.24-)

<最優秀脚本(オリジナル)賞(同率)>

『シン・エヴァンゲリオン劇場版:II』庵野秀明(山口県宇部市出身/1960.5.22-)

『37セカンズ』HIKARI(日本・大阪出身/生年月日等未公表)

<最優秀脚色(原作有り)賞(同率)>

『異端の鳥』ヴァーツラフ・マルホウル

『ノマドランド』クロエ・ジャオ(中国・北京市出身/1982.3.31-)

<最優秀作曲賞>

『はちどり』マティヤ・スタニーシャ(ドイツ・ベルリン在住/生年月日等未公表)

<最優秀歌曲賞(同率)>

『ユーカリの木立(1963・カバー)/異端の鳥』

作曲・作詞：ナオミ・シエメル 歌唱：イトカ・チェヴァンチャロヴァー(ルドミラ役)

『Rain Song/ミナリ』

作曲：エミール・モッセリ 作詞：ステファニー Y.ホン 歌唱：ハン・イエリ(モニカ役)

<最優秀音響賞>

『1917命をかけた伝令』

マイケル・フェントウム(サウンド・デザイナー)

オリバー・ターニー(サウンド・エディター)他

<最優秀撮影賞(同率)>

『異端の鳥』ウラジミール・スムットニー(チェコ・プラハ出身/1942.7.13-)

『1917命をかけた伝令』ロジャー・ディーキンス(英国・デヴォン州出身/1949.5.24-)

<最優秀編集賞(同率)>

『異端の鳥』ルジェック・ヒューデック

『はちどり』チヨ・スア

<最優秀美術賞>

『パラサイト 半地下の家族』 イ・ハジウン チョ・ウォンウ

<最優秀視覚効果賞>

『TENET テネット』

アンドリュー・ジャクソン アンドリュー・ロックリー スコット・R・フィッシャー他

《総評》

2020.1.1～2021.3.31迄に日本で初公開された映画全作(配信限定及び旧作リバイバルも含め)+フクオカシネアスト上映作品の中で皆様の投票により選ばれた第三回目の栄えあるベスト1(最優秀作品賞)はヴァーツラフ・マルホウル監督の『異端の鳥』です!前回1位に輝いたフランシシェク・ヴラーチル監督の『マルケータ・ラザロヴァー』が2位。この二作と10位に入ったヤン・ニェメツ監督作『夜のダイヤモンド』は同国という以上に相似が多く期せずして三作並んでの同年ベストテン入りは快挙。COVID-19対策で対象期間を15ヶ月間とした今回、同率12位迄の15作品中公開2020年が8作2021年が3作シネアスト上映作が4作という結果に。「昨年3月以降の1年間で観た映画はキメツのみ」と書かれた投票もあって複雑です。16位から24位は『死靈魂』『シカゴ7裁判』『ザ・ファイブ・ブラッズ』『ストーリー・オブ・マイライフ』『天使』『暗くなるまでには』『アウステルリッツ』『ナイチンゲール』『DAU.ナターシャ』(以上タイトルのみ)です。注目の部門別はどれも激戦で見事な顔ぶれ。以上、多くのご投票に感謝致します。次回がより熱戦になることを祈って。